

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

第3回部会

オンライン会議
(令和5年2月13日)

- 1 報告 令和4年度個人情報保護研修会実施結果について
- 2 議事 73症例から抽出されたルール(案)をグルーピングして要約する

1. 報告 令和4年度個人情報保護研修会実施報告

■ 研修の目的

- ・カシワニネットの利用において、患者一人一人の個人情報を取り扱うことから、利用する各職種が、個人情報保護に対する意識と知識を高めること
- ・一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうこと

■ 実施概要

	概要
期間	令和4年11月7日(月)～11月27日(日) ※3週間
受講対象事業所	466事業所
受講対象者	1,895名 (内訳:カシワニネット担当者 444名 一般受講者 1,451名)
受講形式	研修システムを利用したeラーニング
周知方法	案内文の郵送及びカシワニネット「柏市からの重要連絡」での告知
工夫点	<ol style="list-style-type: none">① 研修システムへのアクセスの仕方を整理し、「研修システムへのログイン方法」を作成し周知② 柏市ホームページ「カシワニネット事業者向けページ」に本研修会の項目をたて、研修システムへのログインページへ誘導③ インセンティブに関する周知 (優良事業所の認定証の送付及びカシワニネット、柏市ホームページにて公開)④ カシワニネットの効果的な活用に関する動画を作成 (タイトル:カシワニネットのお部屋について)

<補足> カシワニネット担当者が受講対象事業所より少ないのは、同一法人内で複数の事業所の担当を兼務している方がいるため。

■ 実施結果

- ・事業所の受講率は昨年度より **5ポイント**増加し、受講対象者全員が受講した事業所（＝優良事業所）は **9ポイント**増加した
- ・受講者全体の受講率は昨年度より **13ポイント**増加し、半数近い人が受講した結果となった
- ・その内訳を見ると、一般受講者が著しく増加したものの**カシワニネット担当者の受講率は横ばい**であった

	令和4年度	令和3年度
受講事業所数	<u>262事業所（約56%）</u>	223事業所（約51%）
全員受講の事業所数	<u>142事業所（約31%）</u>	96事業所（約22%）
受講者数（受講率）	<u>884名（約46%）</u>	630名（約33%）
カシワニネット担当者	206名（約46%）	204名（約47%）
一般受講者	678名（約47%）	426名（約29%）
アンケート回答者数	762名（約86%）	486名（約77%）

実施結果および受講者アンケート結果から言えること

■ 研修の重要性について（図1）

受講者ほぼ全員において個人情報保護に対する重要性を再認識する機会となり、そのうち約4割の人がさらに事業所（または個人）の現状やルール等を再度確認してみようという意欲を高めることにつながった

■ カシワニネット担当者の受講について

カシワニネット担当者の受講率が横ばいであったため、カシワニネット担当者の受講者をどのように増やしていくかが課題となった

■ 研修システムへのアクセス・ログインについて（図2）

昨年度の課題であった研修システムへのアクセス・ログインの利便性の向上については、今年度の受講者のアクセスが簡単だったことから改善がはかれたと考える

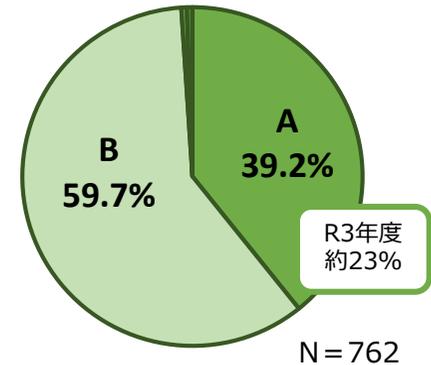
■ インセンティブの効果について

優良事業所認定証について、複数の言及が問い合わせ時にあり、事業所内での受講の促進や意欲向上につながるとともに、カシワニネットID登録者の整理にもつながった

■ プラスワン動画について

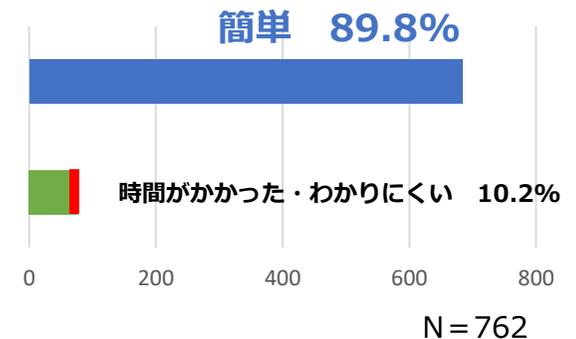
今回試行したプラスワン動画は、任意の受講としたものの受講者の半数が視聴し、そのうち約5割がカシワニネット未利用者であり、今回の視聴をきっかけにカシワニネット活用への意欲を高めることにつながった

図1



- A 個人情報保護の重要性を再認識できただけでなく、事業所（または個人）の現状やルール等を再度確認してみようと思った
- B 個人情報保護の重要性を確認する良い機会となり、研修の意義を感じた

図2



研修総括

- 本研修を通し、受講者ほぼ全員において個人情報保護に対する重要性を再認識する機会となった
- 受講率向上のため、以下の点について継続する
 - ① eラーニング
 - ② 研修の周知方法や内容の工夫
 - ③ インセンティブ（合格証、優良事業所認定証の発行及び公開）
- カシワニネットの効果的な活用のために、活用促進につながる啓発動画の作成も継続する

■ 研修後の取組

- 本研修のアーカイブ配信（期間：R4.12.19～R5.3.31）
- 未受講者アンケートの実施（期間：2月中旬～下旬頃）
- 優良事業所認定証、合格証の郵送（2月下旬～3月初旬頃）

2. 議事

① 1年間の振り返りと今後の予定

■ 令和4年度多職種連携・情報共有システム部会及びコア・ミニ会議の実績

時期	会議	内容
6月3日	第1回部会	「より円滑な多職種連携のため、新たなルールの種を見つける」ための具体的な進め方を検討
9月2日	第2回部会	「ルールの種の抽出からルールの素案作成まで」の作業工程の検証
10月4日	第1回コアメンバー会議	<ul style="list-style-type: none">・第2回部会の結果をふまえて症例に基づくルール（案）の検討・ミニ会議の実施に向けた検討
11月4日（2G） 7日（1G） 11日（3G）	第1回ミニ会議	症例に基づくルール（案）の検討① 1G：症例10～19 3G：症例30～39 2G：症例20～29
11月28日	第2回コアメンバー会議	<ul style="list-style-type: none">・進捗状況の共有，振り返り・ミニ会議の今後の進め方（再確認）
12月12日（2G） 22日（3G） 23日（1G）	第2回ミニ会議	症例に基づくルール（案）の検討② 1G：症例40～51 3G：症例64～74 2G：症例52～63
2月13日	第3回部会	73症例から抽出されたルール（案）をグルーピングし，要約する

■ 作業工程

<最終目標>

柏モデルガイドブックにおける「多職種連携のルール」について、現状に則した内容に合わせて一部改訂することを目指す

R4

第1回部会

具体的な進め方を検討

部会員から
職能団体へ収集依頼

症例収集

収集数：73症例

第2回部会
第1～2回コア会議
第1～2回ミニ会議

症例からよかった点と問題点を抽出

症例毎にルール（案）を作成

第3回部会

ルール（案）のグルーピングとその要約

R5年度
第1回~2回部会

モデルガイドブック初版・2版と
新しいルール案を照合（重複の整理）

ルール（案）を現場の実情と比較し精査

パターン① ルール（案）が不足している場合

パターン② ルール（案）でよい場合

- ✓ 症例の再収集
- ✓ ミニ会議の実施
- ✓ ルール（案）の作業等

病院側からの視点もふまえたルール（案）の確認

モデルガイドブックの体裁（レイアウト）の確認

ルール（案）の成文化

令和6年度中 ルールの素案完成

きたる柏モデルガイドブック改訂時に反映

実施方法・時期
未定

②グループディスカッション

■ テーマ

73症例から抽出されたルール（案）をグルーピングして要約する

■ 内容

コア・ミニ会議で検討した73症例から抽出されたルール（案）を整理
<具体>・ルール（案）を入退院時・日常・急変・看取りに分けたものを、

- ① 同じ内容でグルーピング
- ② グループごとに内容を要約

★作業のイメージ図



■ ルール（案）ができるまで ～（例）看取りの場面～

① 症例収集

＜症例3 訪問看護ステーションの看護師より＞
当ステーションはリハビリで介入。肺炎後は看護師、往診、ヘルパー、デイケアの利用もあり、終末期まで多職種で支援していた。病状の進行から終末期に至るまで、家族の受け止めやケアの方向性をチームで共有できた。タイムリーな医師への説明もアシストすることができた。

＜症例53 在宅支援診療所の看護師より＞
退院し、自宅では4日間と短い期間だったが、訪問入浴や歯科衛生士の方が介入。ご本人の表情が穏やかであったり、ご家族がとても喜んでいた。今回は、他職種で連携がスムーズであった事例だった。

② 問題点を抽出

- ・ 家族への説明がしっかりなされた
- ・ 担当者がタイムリーな支援を行えた
- ・ チーム作りがしっかりできていたため、多職種で情報共有を行っていた
- ・ 住み慣れた地域で看取りを行えたことがよかった

- ・ 他職種連携がスムーズにできたことがよかった
- ・ 本人が望んでいた自宅での療養ができたこと
- ・ 4日間という短期間で多くの介護サービスを入れられたことがよかった

③ ルール（案）作成

病状の進行に合わせた情報やケアの方向性・家族への説明等について、多職種で共有すること

がんの終末期は、多職種連携を速やかに行う

↓ グループング

④ 要約

病状の進行やケアの方向性、家族への説明内容等について多職種で速やかに情報共有する

■ 令和5年度第1回部会（令和5年5月～6月頃を予定）

- ・モデルガイドブック初版・2版と新しいルール案の照合（予定）